

## 「利根川・江戸川河川整備計画（原案）」に対する公聴会

平成25年 2月25日（月） 15:20～15:35

さいたま新都心合同庁舎検査棟

発言者：公述人19

松戸から来ました■■■■と申します。座らせていただきます。私は公述について概要を出した時に8項目をちょっと書かせていただいたんで、それについて、それに沿って話をしていきたいと思えます。1つはダムに偏った治水であるという今回の計画が、すでにもう利根川水系にはたくさんのダムがありまして、そのダムの果たしている役割についての検証についてはっきりしたものは出されていないというふうに感じます。それから、同じように建設予定のそれぞれのダムが今後どのような治水に役に立っていくのかということも、その今までに既に造られたダムとの関連において、その治水の効果について、関連を持って、やはり検証をしていかなければならないのではないかと思います。それから、すでにいくつか中止になったのがあるんですけども、それがなぜ中止になっても治水について影響がないという判断をしたのかということについて、やはりその造られているダム、予定されているダム、中止になったダムについて、きちんとした治水効果を考えていただきたい。八ッ場ダムについて、私はずっと関わって参りましたけれども、八ッ場ダムについての治水効果についてはかなり考察がずさんではないかというふうに感じました。2つ目は、その八ッ場ダムに絡んでいることですが、洪水、八ッ場ダムを造る治水上の理由について、洪水があったということについて、洪水の地域をほんとうは洪水の水がいない地域まで、あたかも洪水域であったかのような、そういう資料をもとに八ッ場ダムの治水計画を立てていたということは、先日、明らかに、新聞でも報道されております。ご存じですよ。それについて、明らかに嘘をついた資料が、専門家の人たちとか、会議、有識者会議のように提出されていたということについて、反省の弁とか聞いていないんですよ。そちらの方から見解として出てない。それで、実はその洪水域が嘘だったということは何ともしようと思って、今度は別な数値を上げて、治水計画の帳尻を合わせようとするというような、そういうやり方を取っているということは、はなはだ問題ではないかと思います。だから、なぜそういう嘘をつかなければならなかったかということは、治水上の八ッ場ダムのメリットを上げるための水量の、洪水の時の水量を割増すために洪水域を増やしたわけですから、それについて違ったなら違ったということをきちんと表明して、もう一度やり直すべきではないかと思います。3番目は、私、松戸と申し上げましたけれど、江戸川の左岸。ダムを造ってほんとうに洪水が完全に防げるかといったら、やはり水は来ますから堤防をきちんとメンテナンスしていただければ、ダムにばかりお金が使われてメンテナンスの、筐子トンネル、とんとんて叩くこともしないで、こうやって見て回って、お金が掛かるから、人件費が掛かるからといって、見て回って、それで済ませていたと。だから、堤防についてもきちんとそのやっばり、どこか水漏れしているところもあるって聞いていますけれども、それはもうほんとうにダムとは関係ないことで、堤防が痛んできているなんていうことをきちんと見て回る予算とか補修する予算がダム建設に取られていて、いざ、たいしたことのない水量でダムから水が漏れるというようなことがあったら、ほんとうにこれは大変なことになると思います。それが、また一転するとスーパー堤防という話を言い出しまして、松戸にもあったのは何となく消えてしまったようですけれども、実際にあんなのちよろっと、私も見学に行きましたけれど、ものすごく少しずつしか出来ていないんで、物理的にも人も住んでいるし、金銭的にも

それこそダムでなくらいのとんでもないお金が掛かるというような、そういうスーパー堤防計画なんていうものを今以て持っているということがじられないです。今ある堤防をいかにきちんと補修し強化していくかということを考えていただきたい。4番目が、どうも東京を中心に計画を考えているのではないかというふうに、千葉県民として、これちょっとひがんでいるんですけれども。だいたい、地方を犠牲にして東京を守ろうというのが、まあダム計画かなとは思ったんですけれども。実は中川とか荒川とかの水をいざとなったら江戸川に流すという放水路ありますよね。あれで江戸川にきたら千葉県側に洪水を溢れさせて、東京を守るという計画だというふうには聞いたことがあるんですが、まあ、まさかほんとうだとは思わなかったんですけれども、でも、そういうふうにひがんでしまいたいくらい右岸を強化して、堤防ですよ。右岸の方は結構きちんとしていて、左岸の方の堤防の修理費を少なくしているのではないか。東京を守るために他のところをなんとか犠牲にしても良いというふうな、なんかそういう計画ではないかっていうふうに私は感じました。5番目は支流全てを考慮してないと。利根川水系利根川・江戸川ですけれど、鬼怒川とか、もっと小さいいろいろな河川がこの利根川に関わるたくさんの中小的河川があるのに、それについてきちんとした、その利根川の関連性を計画の中に盛り込んでいないっていうことは、地方というか、だからどこどここの治水を考えているのっていうふうに、その東京の治水だけではなくて、それぞれ中小河川の住んでいる人々の治水を計画に盛り込んでいかなければ、東京を守るための計画では許せないと私は思います。6番目は千葉県民としては、特に八ッ場ダムは治水上メリットがない。下流に来てしまいますので、江戸川にしてもどっちにしても。そうすると、そこで数量を減らすにしてもほんの少ししか、何cm、10cmないかとかいう話があるんですけれど、だからほとんど治水上のメリットがないのに千葉県は負担金を出せと。洪水を防いでいるぞということで、ダムを造るから、お宅の方に流れないようにするからお金を出しなさいと言われてはいるけれども、千葉県民としては千葉の財政、決して豊かではありませんで、借金も山ほどありますので、1兆を超えておりますので、そういうところでいうと千葉県に対する治水上の説明が不足しているのではないかというふうに思います。7番目は老朽化の問題です。さっき笹子トンネルの話もしましたが、首都高の足下はもうボロボロになっているとか、いろいろな公共的なインフラがもう老朽化しています。日本が高度成長期にどんどんどんどんそういう公共施設を造ってきましたよね。今それが、30年、40年、50年経って古くなってきている。そのメンテナンスだとか更新とかを考えなければならぬ。その費用は莫大です。それなのにさらに新しい公共的な施設をどんどん増やしていったとしたら、こんなの日本が成り立たないはずですよ。あの安倍さんはなんか今度、アベノミクスとかなんかいって景気が上がったと言っていますけれど、実際、人口は減ります。私も団塊のしっぽですよけれど、団塊が10年経てばそれだけ年取るし、それに比して、若い子供達いません。松戸だって小学校なんかもう半分です。一時の半分しか小学生いません。明らかに何年か経てば人口は減り、働く人たちはいなくなっちゃいます。生産年齢、生産人口と言われてはいる人たちが減っていった時に全てのインフラが老朽化し、メンテナンスにはお金が掛かるし、更新するにもお金がない。ダムが崩壊するかもしれないという事態が来るんです。それについて、この計画にはほとんど、そういう老朽化による心配というか、崩壊について考えてないのではないかというふうに思いました。それから8番目としては、優先順位です。いろいろなことで優先、河川の堤防が先かダムが先かというような優先順位ももちろんありますし、川の掘削といろいろあるんでしょうけれど。私が思ったのはそれだけではなくて、国交省の河川計画課ですか、皆さんは。その方達が一番に判断する優先権があるのか。また、その人達が河川課の方が招集して、今、あの、委任しているんですか、有識者会議、その人達が判断する権利があるのか。そうじゃなくて、その流域全部に住んでいる、関係している市民とか、住民ですよ。それからそこにある自治体、市町村の考えをやっば

り優先していただかなければならないだと思います。それで、きょう、私はあまり専門的なことしゃべれませんけれども、今回、こうした公聴会でかなり専門的なお話もされているはずなんです。そういう人たちが有識者会議には呼ばれないんです。せめて参考人くらいは呼んでいただければと私は思いますけれども、そういうほんとうに専門的な意見を持った方々の意見も優先順位からいうとかなり低いところに置かれている。やはり、その実際その河川の流域に住んでいて心配している人の意見を最優先にして計画を作っていただきたいと思います。パブリックコメントと公述は必ず今回の計画に反映させて欲しいです。今、原発の方では、私が毎週金曜日に行っていますけれども、規制委員会が安全基準についてパブコメ取っています。たった2週間ですよ。ふざけると私は思いましたけれど、そういうふうにはパブコメを取るんだらば、やはりそれはきちんと計画、そこに入れて欲しいです。ただ、手順として、最後が決まっているんです。例えば、原発で言えば再稼働、河川で言えばダム建設とかいうのを決めて、それに合わせて計画を作るとか、安全基準を作るとかして、そのためにパブコメをこの間でちょちょことやってしまおうと。で、それをただやりましたで済ませてしまうのではなくて、ほんとうにきちんと安全基準なり、ここで言えば河川の整備計画にきちんと入れて欲しいと思います。3. 1 1で私たちは原発が日本で54基あるってということが、みんな知るようになりました。ダムについて言えば、まだまだ崩壊して大変な騒ぎになったということが、例えば、洪水で人が、死人が出たと言ったことがないために、ダムについてはあまり知られてないです。一時、脱ダムという言葉がちょっとメディアなんかに出てきた時に、ああ日本にこんなにダムがあったんだと、私はほんとうに驚きましたけれど、まだ一般のそういう私ほどダムに関心のない人たちは、日本にたくさんのダムがあるということについて知らないです。やっぱり、ダムについてきちんと検証して必要なかどうかを考えていただきたい。これからの日本の国を良くしようという考えは、たぶん河川課の皆さんも私たちも同じなんだと思うんです。どちらが日本の国をこれから良くしていくための計画を作ろうかとしているんだと、私考えるんですけれど。やはり責任を持っているのは河川課の人たちだと思います。だけれども、仕事でもないのに無償で関わって、社会の問題として、これから子供達に良い社会を残していきたいと思って関わっている、そういうさまざまな地域住民とか専門家の人たち、ぜひ、今回のいろいろなところから出されている河川整備計画についての意見を盛り込んで、ともにこれからの日本に必要な計画にしていきたいと私は思っています。以上です。よろしくお願いたします。

以上